

Ⅲ 研究の実践

2 食に関する指導

2 食に関する指導

1年生 学級活動「なんでもたべてげんきになろう」



事前活動として、食べ物の好き嫌い調査をした後、本時では赤・黄・緑の食べ物とその働きを知り、好き嫌いをしているとどんなことが起こるか、どんな食べ方がよいかなど児童と学習した。保護者も何色の食材かを児童と一緒に考えるなど、参加してもらい楽しく学習できた。

給食の時、「〇〇と仲良しになろう。」と声をかけながら食べている。好き嫌いの多かった児童が次第に給食を残さず食べられるようになってきている。



2年生 学級活動「おはしのたつじんになろう」



5月の給食目標「はしを正しく持てるようになろう」をうけて、学級指導を行った。事前にランチルームではしの持ち方について学習をしている。始めに、適量を口に運ぶことができると、上手に噛むことができるようになる、ということを確認しその後、①～③の修行を行った。

①はし1本を鉛筆と同じように持つ。

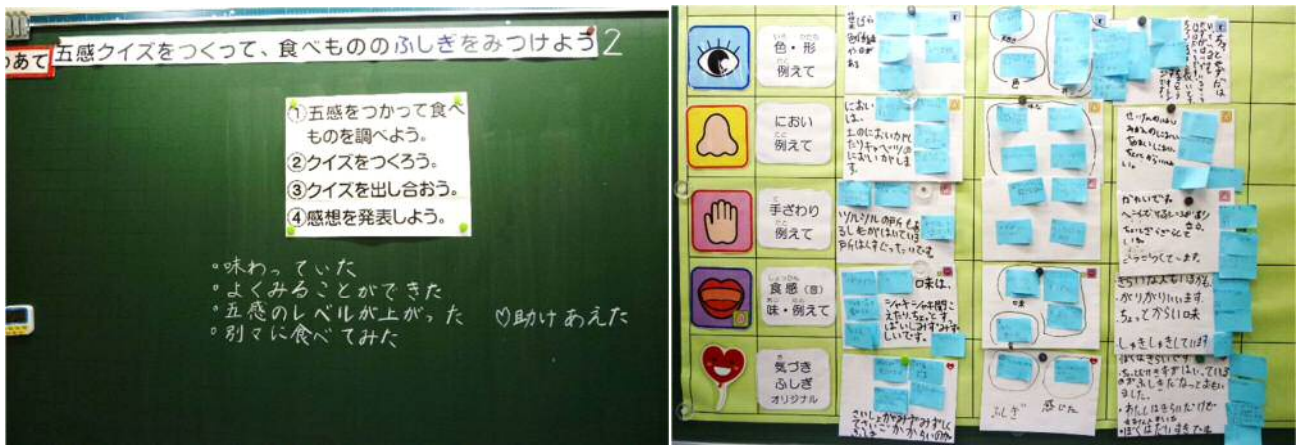
②①のままで、指を伸ばして1の字を書く。

③もう一本のはしを親指の付け根に固定する。

修行がクリアできた児童から、スポンジをつかんだり、さまざまな豆をつかんだりして、おはしのたつじんになれるように練習を行った。この活動で正しく持てるようになった児童も何人かいた。



3年生 学級活動「五感クイズをつくって、食べもののふしぎをみつけよう」



西栗倉小学校では、さまざまな体験やふれあいを通して“五感を鍛え、ふしぎを育てる”取組をしている。給食時間でも、五感を働かせ食べる“ふしぎたんけん”の活動で食材を食べることを通して、“ふしぎを育てる”活動を行っている。3年生では、“ふしぎを育てる食育”を授業として取り上げた。

目、鼻、手、口、心の五感を使って、そのままの食材を班ごとに調べ、五感シートにまとめた。大きく切った生の大根を食べ、「生の味ってこんな味なんだ!」と目を見開いて驚いたり、キウイを食べ「よく噛んで食べると、つぶつぶがあった!」と言ったり、普段何気なく食べているものでも、改めてよく噛んで味わってみると新たな発見があった。五感を使って食べることで、児童から様々な言葉で表現ができた。

そのままの食材を食べるという体験を通して、五感を働かせ、食材が持っている特徴や、味わいの面白さに気づくことができた。ふしぎを感じたり、ものや人に感動したりする心を育てたい。



それぞれのグループでまとめたものを見ながら、それぞれの感じ方の違いや、表現のおもしろさを感じた。



全校 給食時間・児童朝礼「ひみこのはがいで」

よく噛まないで食べると、食事が早くなり、満腹感を得るまでにたくさん食べてしまい、過食につながります。よく噛むことで、食べ物を十分に摂取したという満足感が得られ、肥満を防ぐことができます。

顎の筋肉が鍛えられて歯が並ぶための顎の骨を発達させて歯並びを良くします。よく噛むことで舌や顎の筋肉が発達し、顎の骨も広がっていきます。そのため、自然に、正しい口の開き方ができ、正しい発音ができるようになります。

よく噛むとあごが発達するので、歯がきれいに生えます。きれいに生えそうだと、歯垢もたまりにくく、歯みがきもしやすいです。これにより、虫歯や、歯周炎も防ぎ、歯槽のうろうの予防になります。よく噛むと、唾液がたくさん出ます。唾液には食べ物のカスや細菌を洗

消化吸収をよくし、胃腸の働きを活発にします。唾液と食べ物が良く混ざると、食べ物の本来持つ刺激性を抑えてオブラートに包むような形でやさしく胃に対応してくれます。



舌の表面にある味蕾は、唾液で湿っていて初めて味覚を敏感に感じます。唾液には、味覚の働きを高める作用があります。

噛むことで味、温度、食感、香り、混入している危険なものなど、さまざまな情報を感知してそれが口から脳に伝わり、脳を刺激します。よく噛むことで脳神経が刺激されて脳に流れる血液の量が増えて脳が活性化します。記憶力の向上や認知症の防止にも効果的とされます。

発ガン物質は唾液に30秒つけておくことで毒消しの効果があるそうです。唾液の中に含まれるペルオキシダーゼという酵素が、食品の発ガン性を抑えるので食物と混ざり、がん予防に役立ちます。

野球で、投手が全力を尽くして投球すること、つまり、もっている限りの力を出し切って物事を行うこと。スポーツ選手は歯を大切にしている人が多く、とても大事な部分です。歯並びと運動能力には関係があることがわかっています。

- ・歯並びがよくなると力を発揮しやすい
- ・脳を活性化することは、身体能力も高める働きがある。(運動神経系)
- ・全身の筋肉のバランスが整う。背筋力アップ

6月、11月の給食時間や、児童朝礼の時間に食育標語『ひみこのはがいで』を使い、よく噛むことのよさについて学習した。児童は、よく噛むことにはたくさんのいいことがあるということを知り驚いていた。

ランチルームにも掲示をし、「『ひ』はなんでしょう？」などと児童同士でクイズ形式で出し合って、楽しく覚えた。

よく噛むことのよさを知り、全身の健康につながっていることに気づき、意識的によく噛んで食べようとする児童が増えた。



全校 給食時間「ふしぎたんけん」



児童は味覚が発達する大切な時期でもあるので、様々な食材や、味にふれさせたいと考えている。

給食時間、児童は何気なく食べるのではなく、五感をしっかり使って食べることを意識している。「ふしぎたんけん」という活動で、食材本来の味を感じるために、蒸しただけのそら豆を食べた。見て、においをかいで、口の中で転がして、最後は目を閉じてしっかり噛んでそら豆の味を感じた。口に全神経を集中させながら食べている児童たちの表情は、本当にいい顔であった。最初、「そら豆苦手!」と言っていた児童が、「よく噛んで食べてみると、おいしかった!」と感想に書いていた。おいしく食べるためには五感をつかうとよいことを少しずつ実感している。また、味わって食べるためには、よく噛んで食べる必要があることに気づいている。このことをきっかけに、味わって食べたり、それにともないよく噛んで食べたりする児童が増えてきた。

このことから、よく噛んで食べるのが良いことだとは分かっているが、なかなかよく噛んで食べられない児童でも、味わって食べようとする、自然によく噛んで食べようとするのが分かった。



6年生 家庭科「自分たちにも作れるカミカミメニューを考えよう」



学級活動において、「よく噛んで健康なからだを目指そう」という題材を通して、よく噛んで食べることの大切さを学習している。それをふまえて、「よく噛むことができる調理」に注目し、自分たちにも作れる簡単な「カミカミメニュー」を考え、実践できることを目標にした。児童らは噛みごたえのある食材選び、切り方を工夫するなどし、メニューを考えた。

家庭科の教科書を参考にしながら、メニューを作成した。家庭科で学習してきたことが生かされていた。また、自分の好きなメニューを工夫して、カミカミメニューを考える姿も見られた。



実習当日は、班ごとに考えたメニューを仲間と協力し合って、手際よく調理した。切り方の工夫、食材選びなど、班ごとの工夫があり、とても楽しくおいしいメニューが完成した。

「カミカミ大作戦～カミカミパーティー～」と名づけ、バイキング形式で全種類をよく噛んで食べた。お互いの料理の交流を行うことで、違う班のいいところにも気づくことができた。



カミカミピザトースト



カミカミミックスサラダうどん



パンの耳ラスク・
カミカミ野菜ベーコン巻き



ジャーマンごぼう

6年生 家庭科「三色野菜炒め」

調理実習で「三色野菜炒め・スクランブルエッグ」を作った。炒める順番を考えて行った。野菜の硬さを生かした炒め料理ができた。



5年生 家庭科「カラフルゆで野菜サラダ」

調理実習で、「カラフルゆで野菜サラダとドレッシング」作った。

ブロッコリー・人参・キャベツを使い、野菜の特徴（硬さ）を生かした茹で方をした。また、輪切り、半月切り、短冊切りなどの野菜の切り方の学習もした。

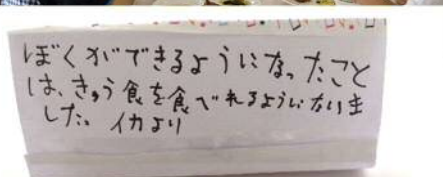


全学年 給食試食会

西栗倉小学校では、全学年1年に1回保護者対象の給食試食会を実施している。その際給食について、地場産物の活用について、噛むことの大切さ、朝ごはんの必要性などの食の大切さについて、保護者との学びの機会を持っている。

当日は、ランチルームで親子仲良く向かい合って、横並びで給食を食べる。4年生は保護者へのメッセージを児童が作った。1年生は保護者と一緒に笑顔で張り切って給食を食べた。

その他、生産者の人や、地域の人、外部講師の人などと食を通して触れ合う交流給食を活発に行っている。



6月 4年生試食会



7月 1年生試食会

Ⅲ 研究の実践

3 日常活動

3 日常活動

(1) 歯みがきチャレンジカード

6月の歯と口の健康週間、夏休み、11月のいい歯の日、冬休みの年4回実施した。

平成28年度から、児童が目的意識を持って取り組めるようチェック表に歯みがきの目標を記入できる欄をつくり、歯みがきと間食、噛むことについての項目をチェックするようにした。6月よりも授業や健康委員会の取組後は、児童も意欲を持ってのぞめた。児童の感想には「1本1本でいねいにみがけた。」や「3分以上歯みがきをがんばるという目標を達成できた。」「朝と昼の歯みがきができなかったのがんばりたい。」などがあつた。保護者の感想にも「毎日声かけをしなくても砂時計で3分計ってみがいていました。」「歯医者に行きながら治した歯を大切にしようといねいにみがけました。」「早ね・早起きをがんばっていました。歯みがきも自分からみがけており、妹にも歯みがきの声かけをしてきていました。」などの感想がみられた。

平成28年度には、親子で歯みがきチャレンジカードにバージョンアップして、保護者と一緒に歯みがきや仕上げみがきに取り組んでもらった。夜の仕上げみがきに取り組む家庭も増えた。

長期休みには、朝と昼の歯みがきができている児童もいるので、家庭での協力を呼びかけながら、1日3回の食後の歯みがきが定着するように今後も引き続きチャレンジカードを行ってきたい。



歯みがきチャレンジカード

かみそりをするなら歯みがきがう！！

氏名 _____ 学年 _____

歯みがきの目標 _____

目標がまもれたら歯を磨くかみそりをつけよう。おうちの人がいっしょにたのしくみがこう！！

月	歯	一人	おうちの人がみがいた	歯	一人	おうちの人がみがいた	歯	一人	おうちの人がみがいた	歯	一人	おうちの人がみがいた	歯	一人	おうちの人がみがいた
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

歯みがきの日数 _____

仕上げみがきの日数 _____



いろいろな歯のみがき方を見学が名前をつけ、意識してみがけている

外側をみがく



こちょこちょみがき

1本ずつ細かくみがく

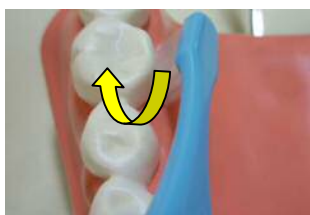
みぞをみがく



しゃかしゃかみがき

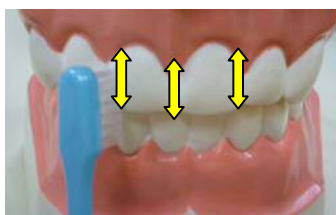
歯のみぞにハブラシを当ててみがく

内側をみがく



くるんくるんみがき

歯と歯の間をみがく



たてみがき

内側をみがく(下)



かき出しみがき

(2) 歯みがきの工夫

ランチルームでは、水道の蛇口の数も少ないため混雑したり、鏡がくもったりするので、歯みがき用の手鏡を全員分購入した。また、6年生がストップウォッチで3分間計りながら歯みがきを始めたことで、全校に広まり、給食後自分の席で手鏡を見ながら3分間みがくことが当たり前ようになってきた。

健康委員会の児童が、給食後の歯みがきチェックを学期に1度行い、みがき残しがないか口の中を見て、合格したらシールを貼り、児童の意欲を高めた。

また、歯ブラシ点検を行い、古くなったものや大きすぎるものにはシールを貼り、新しいものと交換するよう呼びかけた。

歯みがきへの意識が低くなってきたので、学校のキャラクターを登場させ、歯みがきの順番を示したDVDを健康委員会で作成し、DVDに合わせて3分間すみずみまでみがけるよう工夫した。毎日給食後に繰り返し促すことで、児童の歯みがきへの意欲が持続できるようにした。また、自分が今どこをみがいているか意識してみがけるようになった。



(3) 歯・口の健康週間ポスター・標語募集

6月4日～10日の歯・口の健康週間に合わせて、児童・保護者からポスター・標語の募集を行った。優秀作品は全校の前で表彰を行ったり、作品を保健室前に掲示したりして、歯・口の健康づくりの意識を高めるようにした。



(4) 歯・ロファイルの活用

全児童に歯・ロファイルを配布し、学習したことを綴るようになっている。歯みがきチャレンジカード、歯科検診の結果、学級活動で使ったワークシートや資料などをその都度ファイルに綴じ、後から見直せるように教室に保管している。ファイルは学年が上がっても引き続き使用して学習に継続性を持たせている。

(5) 掲示物の作成

各学年で歯・口の学習に取り組み、図工などで様々な学年が歯・口に関する作品を作成し、他教科と関連づけて学びを広げた。



Ⅲ 研究の実践

4 学校行事や児童会

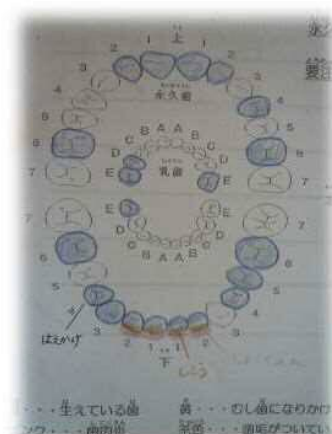
4 学校行事や児童会活動

(1) 歯・口の健康診断

本校では、平成26年度まで歯科検診を5月に1回のみ実施していた。自分の歯・口に関心を持って検診を受けている児童は少なく、学校歯科医が言う記号の意味なども分かっていなかった。

そこで、事前に歯科検診で使われるC, Co, G, O, ×などの意味を知らせることで興味を持って検診に臨めるように工夫した。また、検診時には、むし歯だけでなく、歯垢がたまっているところや、歯肉が腫れているところを手鏡で見せながらどのようにみがいたらよいか児童に個別指導してもらった。要注意乳歯が抜けなくて困っていた児童は直接質問したり、相談したりするなど、自分の歯に関心を持って検診を受けることができた。

事後指導として、歯科検診結果を治療のお知らせだけでなく、歯列に色をつけた資料を個別に作成し、配布した。歯・口の学習に活用した学年もあった。



(2) 学童歯みがき大会への参加

平成28年度全国学童歯みがき大会に5年生が参加した。インターネットを通じて全国・海外の児童とともに歯肉炎について学習した。歯肉炎の歯ぐきの見分け方や歯垢のたまりやすいところ、歯ブラシやデンタルフロスの使い方について映像を通して実践しながら学ぶことができた。



(3) 健康集会

平成27年度は健康委員会の児童が歯・口に関するクイズや、むし歯予防の劇をして、歯みがき

の大切さについて全校に伝えた。また、3つの体験コーナーで、むし歯の原因となる菌垢の正体を位相差顕微鏡でみたり、「あいうべ体操」をしたり、するめを噛んでカミカミチェックをしたりして歯・口への関心を高めた。



平成28年度は、児童による主体的な活動をさらに広げるため、健康委員会が歯・口のクイズをした後、各学年が取組のまとめを5分ずつ発表をすることにした。各学年が歯・口の健康課題を見つけ、課題解決のためにはどうしたらよいのか考え、まとめた。保護者も数名参観し、間食のとり方や仕上げみがきについての協力を児童の口から伝えることができた。学校歯科医の千原先生から、最後に歯みがきの大切さについてのお話があった。

1 健康委員会によるクイズ

2 各学年の取組発表

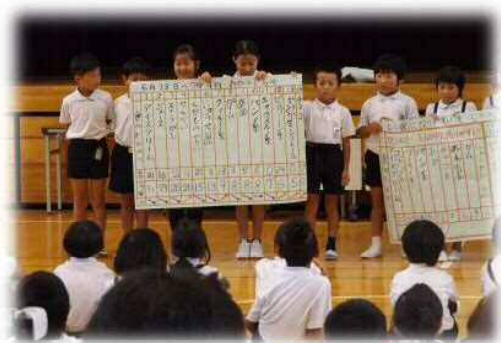
- 1年生「はのおうさまをまもろう」
- 2年生「まえばのみがきかた」
- 3年生「おやつについて考えよう」
- 4年生「おでかけ歯ブラシ」
- 5年生「歯肉炎にならないためにできること」
- 6年生「私たちが考えたカミカミメニュー」

3 学校歯科医 千原先生のお話



児童の感想より

- ・今日は健康委員としての役割を果たすことができてよかったです。
- ・クイズで知らないこともあったので、知れてよかったです。
- ・1・2年生は歯のおうさまについてや、でこぼこの歯のみがき方について勉強してすごいと思いました。
- ・はのおうさまはちからもちになっていることがわかりました。よこみがきやたてみがきではのおうさまをまもります。
- ・歯みがきの目標を決めました。
 - ①鏡を見ながら歯と歯の間にプラークがついていないか
 - ②3分間たてみがき、よこみがききちんとしながらみがくこと
 - ③でこぼこしたところ、背の低い歯はたてにみがく
 - ④最後にうがいをして鏡を見て口の中をチェックする
- ・6年生のカミカミレシピはみんなの歯と口の健康を考えてあり、ためしてみたいと思いました。
- ・健康集会をしてあらためて歯や歯ぐきの大切さを知った。3年生はおやつのお砂糖の量などのことを発表していておやつとりすぎには注意しないといけないと思った。
- ・3年生はふだん食べているおやつについて調べていて、ぼくは最近ジュースをたくさん飲んでいるのでキッしました。夏になってアイスやジュースを飲みたくなってくるころなので気をつけたいです。
- ・歯肉が赤くてぶよぶよしているのが歯肉炎で、歯と歯ぐきの境目をやさしくしていねいにみがけているときれいなピンクの健康な歯肉になるということがわかりました。



Ⅲ 研究の実践

5 幼・小・中連携

5 幼・小・中との連携

(1) 村内養護部会

村内養護部会は、教育委員会、保健福祉課、幼稚園保健担当者、小学校養護教諭、中学校養護教諭で構成され、平成27年度・28年度は、歯・口をテーマに毎月1回部会を開催した。養護部会では、歯みがきチェックカードを作成し、幼・小・中で年4回（6月、夏休み、11月、冬休み）実施した。幼稚園においては仕上げみがきについて、小学校においては親子で一緒にみがくなど家庭にも協力をお願いした。

(2) 地域学校保健委員会

地域学校保健委員会は、教育委員会、保健福祉課、幼稚園、小学校、中学校、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、各校園PTA会長で構成され、年2回各校園の健康診断結果の報告などを行っている。平成27年度・28年度は、歯・口の健康づくりを大きな柱として「親子でチャレンジ歯・口の健康づくり」をテーマに各校園で取組を行っている。

幼稚園では、歯科指導に力を入れており、歯科衛生士を招いての、食事の仕方や、歯みがきの様子を見てもらい、『あいうべ体操』をしたり、歯ブラシの持ち方やをみがく順番などについて学んだり、継続して指導している。また、間食のとり方にも課題があったため、保護者に仕上げみがきの方法や、間食のとり方についても協力をお願いしている。

中学校においても、学校歯科医による講話を毎年行っており、口の中の細菌をみたり、正しいブラッシングの方法について学んだりして、実践している。

地域学校保健委員会では、各校園の取組の交流を行い、学期に1度おたよりを作成し、家庭に配布している。発達段階に応じて幼稚園から小学校、そして中学校へつながる指導を行っている。



(3) 西栗倉村教育ネットワーク

西栗倉村教育ネットワークでは、平素より、幼・小・中の一貫教育をかかげており、歯・口の健康づくりにおいてもそれぞれの各校園で取組を行い、お互いに情報を交換している。

平成27年度は、11月に4年生のむし歯予防についての授業を公開し、授業後の研究協議では幼・小・中の教職員、教育委員会がグループに分かれ、意見を出し合い交流を深めた。



(4) 学校保健会養護部会での小・中交流

美作・勝田・英田地区の養護部会において、各校の歯・口に関する指導などについての情報交換を行った。また、本校で作成した歯の模型教材（第一大臼歯・小臼歯模型、歯列模型）を紹介し、一緒に作成することで新たな工夫が生まれたり、よりよいアイデアが出て改良されたりしてみんなで共有できる教材にすることができた。

各校に持ち帰り、歯・口の健康教育で教材を活用し、保健指導を充実していきたいと考えている。



Ⅲ 研究の実践

6 家庭・地域との連携

6 家庭・地域との連携

(1) 家庭との連携

ほけんだよりを通じてむし歯や歯肉炎の様子、治療の様子などを定期的に知らせるようにした。また、地域学校保健委員会が作成したおたよりでも、村内の幼稚園・小学校・中学校の歯・口の取組や西栗倉村保健福祉課が行っている母子保健と合わせた取組を紹介している。

平成27年度、1年生は6月の学級PTA活動において親子で仕上げみがきについて学習した。自分で鏡を見ながらみがいた後、保護者の方に仕上げみがきをしてもらった。児童の感想には「つるつるになって気持ちよかった。」などの感想があり、保護者も家庭で継続して夜の仕上げみがきに取り組んでいた。

平成28年度も1年生の保護者を対象に食べるときの姿勢や噛むことの大切さ、仕上げみがきについて歯科衛生士に教えてもらった。保護者の中には朝も仕上げみがきをしたり、デンタルフロスを使って歯と歯の間までていねいにみがいたりする家庭もあった。歯・口の健康に関心の高い保護者が少しずつ増えている。



(2) 地域学校保健委員会の実施

西栗倉村内の幼稚園・小学校・中学校の保健担当者や学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTA役員などが集まり、年2回地域学校保健委員会を行っている。平成27年及び28年度は、歯・口の健康づくりをテーマにしており、健康診断結果の報告や、各校園の取組を報告した。

地域学校保健委員会では、幼・小・中が合同でおたよりを作成し、年3回家庭に配布している。



(3) 健康参観日の実施

全学年「歯・口の健康」をテーマに授業参観を行った。

1・2年生は、「よくかんで食べよう」をめあてにパネルシアターを使って動物の歯と人間の歯の種類や特徴について学習し、歯の模型を使ってどの歯をどんな時に使っているか考えた。また、りんごやすもめを実際に噛んで、どこの歯を使っているか意識させた。3・4年生は「おいしく食べるひみつをさぐろう」をめあてに「ひみこのはがいてぜ」を振り返り、味覚の発達について学習した。粉々のせんべいと固形のせんべいを五感を使って食べ比べ、グループで話し合いを行った。5・6年生は「歯肉炎を予防しよう」をめあてに歯肉炎や歯周病の進行について学習し、歯肉炎にならないためにどのようにみがいたらよいかについてグループで話し合いを行った。

また、授業後、岡山大学病院小児歯科医の仲野道代先生を招き、「子どもの歯 SOS～こんなことが起こったら～」と題して保護者向けの講演会を開催した。講演後、保護者から「むし歯の予防に加えて、外傷時の対応も聞け、勉強になりました。」「むし歯は子どものうちからのケアが大切なんだなと思いました。」「親自身も治療にいかないといけないなと思いました。」などの感想をもらった。

(4) 給食試食会に歯みがき

給食試食会に保護者に歯ブラシを持参してもらい、親子で一緒にDVDを見ながら3分間歯みがきをした。



(5) 地域との連携

①地域「8020運動」達成者との交流

4年生がむし歯の予防について学習する際に、地域の9人にむし歯にならないための秘訣についてインタビューをした。

歯みがき、食生活、おやつとり方の3つから児童が聞いてみたいことを1人1問ずつインタビューした。特に「夜は5分以上みがいている。」「歯ブラシと歯間ブラシを使い分けている。」「食事のバランスや硬い食材を取り入れるようにしている。」「甘いものはなるべく控えている。」ことなどを学び、大変参考になった。

インタビューしたことを班ごとにまとめ、むし歯にならないために自分たちができることを考えるヒントとした。児童の感想には「私も〇〇さんのように8020を目指したいです。」や「炭酸ジュースが好きだけど、砂糖が多いのでなるべく飲まないようにする。」などの感想が見られた。



②ヘルスボランティアとの交流

平成27年度は、地域のヘルスボランティアが「ひみこのはがいで」の劇をして、噛むことの大切さについて話をしてもらった。また、噛みごたえのあるおやつづくりについて教わった。1・2年生が、ご飯をつぶして、薄くのぼしたものをホットプレートで焼いて、みんなで食べた。しっかり噛んで食べるものの大切さを実感することができた。

平成28年度は、「野菜と仲よし」をテーマに赤・黄・緑の食べ物に分け、実際に野菜をたっぷり使った調理をして食べた。おむすび、筑前煮、みそ汁、野菜食べ比べ、野菜ゼリーなどヘルスボランティアに協力していただいて楽しく作り、おいしく食べることができた。



③健康集会の実施

平成28年度は、児童の主体的な活動を増やす目的で、各学年がそれぞれの歯・口の健康課題を見つけ、課題解決のために取り組んだことをまとめ、発表を行った。健康集会には、保護者・地域の方々などが参加し、歯・口の健康づくりの啓発活動の場となった。

参観された保護者からは「楽しく見させていただきました。各学年ごとに学んだことを発表し合い、歯みがきの大切さが深まったことと思います。」「永久歯への生えかわりの時の歯みがきのポイントや歯肉炎についてなど発表している姿を見て、とてもよく理解しているように感じられ、感心しました。」「どの学年も歯・口についてしっかり学んでいるんだなと思いました。勉強したことを今後大きくなっても実践して行ってほしいと思います。」というような感想があった。



IV 成果と課題

IV 成果と課題

○・・・ 成果 △・・・ 課題

1 体験的な活動を工夫し児童の主体的・意欲的な学習を促す授業づくり

○学習活動の中に体験的な活動を取り入れることにより、児童の興味・関心を引き出せるよう工夫することができた。児童が主体的に自分の歯・口を観察し、自分の歯・口の状態や健康課題を見つけ、課題解決のための方法を考えることができるような活動ができた。

- ・ふるさと元気学習のたんけんキーワードを授業の中に取り入れることで、「鏡で自分の歯をみる」（ありんこたんけん）「舌や指で自分の歯をさわる」（すりすりたんけん）「きゅつと音がする」（ききつこたんけん）等、自分の歯・口への関心が高まった。上手に歯をみがいた後に「気持ちがいい」と実感することができ、日常への意欲にもつながった。
- ・第一大臼歯の模型を使用することで、背が低い生えかけの時には、歯ブラシが届かない部分があることを視覚的に理解でき、歯ブラシを横から入れてみがくことの必要性が分かった。
- ・粘土で歯列模型を作ることにより、前歯・犬歯・奥歯の形の違いや役割の違いについて理解しやすくなった。
- ・りんごやすりめを実際に噛んでみることで、どの歯を使って噛んで食べているのか意識できるようになった。
- ・歯垢染め出しをすることで、普段自分がみがけていないところや、歯垢の残りやすいところが視覚的に理解できた。
- ・口腔内内視鏡「みはるくん」を使用することで、鏡では見づらい歯の裏側などの様子を見ることができ、歯・口への関心が高まった。
- ・ただ食べるだけでなく、そら豆を五感を使ってゆっくり味わって食べることで、食材が持つ本来の味を感じたり、不思議を感じたり、想像したりするなど食べ物についての興味が高まった。
- ・可動式の歯列模型を使って歯のみがき方を考えることで、自分の歯並びに合った歯ブラシのあて方やみがき方がイメージしやすくなり、実践へとつながった。
- ・咀嚼力判定ガムを噛み、色の変化をみることで、自分ではしっかり噛んでいるつもりでも、唾液が出ていないことを実感できた。
- ・食パンとフランスパンを食べ比べることで、噛む回数・唾液の出方・顎の動きの違いを体験的に感じることができ、「カミカミメニュー」を考える際にも噛みごたえのある食材を選ぶ参考となった。

○歯・口の学習を進めるにあたって、学校歯科医、歯科衛生士、養護教諭、栄養教諭、ヘルスボランティアなど、専門的な知識を持った人の協力を得て、授業を進めてきた。専門的な正しい知識や、歯・口の健康へ近づくための具体的な方法やアドバイスをもらうことで、歯・口への関心がより高まったり、正しい実践の方法を身につけたりすることができた。

○歯・口について学習したワークシートや資料などは個人の「歯・口学習ファイル」に綴じ、学年が上がっても引き続き使用できるように工夫したことで、学習した内容を振り返ったり、知識を積み上げたりすることができた。

△授業のあと「〇〇週間」として、自分で決めた目標について家庭や学校で取り組んだが、家庭での様子は分かりづらかった。また、継続して実践できているかについては、声かけ等で

再度確認する必要がある。

△歯垢染め出しも、歯の生えかわりやでこぼこのところなど、注意する箇所を定期的に行って、発達段階に応じて気をつけるポイントなどの注意を促す必要がある。

2 児童の意識を高め、継続できる日常生活の指導

- 歯・口の健康診断を年2回実施し、学校歯科医が、歯垢や歯石がついているところや、歯肉が腫れているところ、生えかけで注意しなければならない歯など一人一人に声をかけ、児童が鏡を見て確認することで、自分の歯・口の健康状態が分かり、意識することができた。
- 歯みがきチャレンジカードを定期的に行うことで、家庭の協力も得られ、歯みがきへの意識を高めることができた。

児童の感想

- おやつ後もみがけたからよかった。
- 歯と口のべんきょうをしておしえてもらったので、1本1本みがくことと、歯こうをきれいにとるためにしっかりみがけました。
- おうちの人とできたからうれしかったし、しこうがあったところがとれたからよかった。
- 1本20回以上みがけて歯こうがとれた。
- デンタルフロスも使ってていねいにみがけた。

○給食後の歯みがきでは、手鏡を持って、健康委員会が作成したDVDに合わせてみがくことができるようになった。途中で歯みがきをやめる児童もいたが、健康委員会が声かけするなどして改善がみられた。

○給食時間を活用して、栄養教諭が「食べ物わくわくたんけん」などの食育を行い、よく噛んで味わって食べることの大切さについて伝えることができた。

○食に関する指導では、児童の発達段階に合わせ、食べることへの意識を高めることができた。

- ・1年生では、好き嫌いのあった児童も「野菜となかよしになろう」と、苦手なものも食べようとする努力がみられた。
- ・2年生では、「おはしの達人」を目指して、はしの持ち方の練習を行い、給食の時にも正しい持ち方で食べることができるようになった児童もいた。
- ・3年生では、食材を五感を働かせて食べることで、本来の味を感じたり、「食べ物のふしぎ」を感じたりすることができるようになった。

△児童は、歯・口の学習に興味を持ち、意欲的に学んでいたが、主体的に継続して実践していくことはなかなか難しかった。H28年度は7月の健康集会に向けて、各学年で課題を見つけ課題解決の方法を考え、まとめて発表することができた。

△歯ブラシ点検などして、歯ブラシを新しいものに交換するよう呼びかけているが、毛先が開いたものを使い続ける児童もいた。

3 家庭・地域との連携

○ほけんだより、学校だより、学級通信や地域学校保健委員会だよりなどの配布により、家庭への啓発ができた。

○地域の「8020運動」達成者の方にインタビューする機会を設け、児童が歯みがきや食生

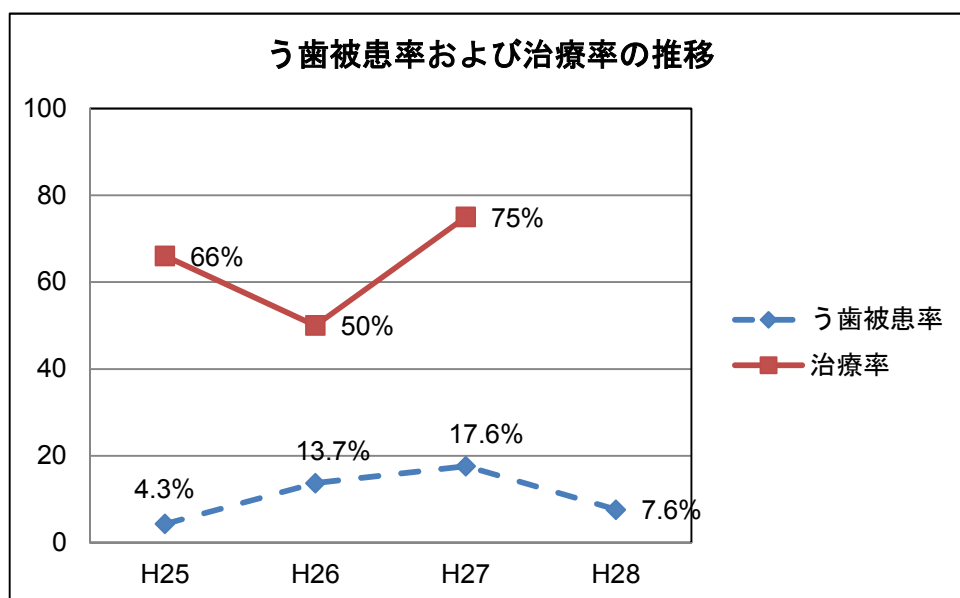
活において今から気をつけることについてより具体的に理解でき、将来にわたって歯・口の健康を守っていくことへの意欲につながった。

- 健康参観日を実施し、全学年で歯・口の授業を参観してもらうことで、家庭での歯みがきやよく噛んで食べることの大切さなどについて意識づけることができた。
- 1年生の保護者には、学級 PTA で仕上げみがきの仕方や間食について歯科衛生士から話してもらうことができ、1・2年生についてはほぼ全家庭で仕上げみがきを実施できている。
- 健康集会では保護者や地域の方が参観してもらい、歯・口の取組が学校だけでなく家庭・地域にも広げることができた。
- 西栗倉村教育ネットワークで、授業参観・協議を行い、幼・小・中との連携ができた。また、幼稚園から歯科衛生士による歯みがき指導などが充実しており、小学校入学時には、歯ブラシの持ち方や歯のみがき方など基本的なことが身につけている児童が多い。
- 村内養護部会や地域学校保健委員会などで各校園の取組を定期的に交流できている。西栗倉村保健福祉課においても、乳幼児検診時に歯科指導や、高齢者の歯科相談などを実施しており、生涯を通じて歯・口の健康に取り組めるよう工夫している。
- △歯・口の健康に関するアンケートを実施することで、学校全体の歯みがきや間食についての課題が見え、意識して取り組んだが、改善されていないところもある。
- △歯みがきチャレンジカードを保護者も参加型にしたが、歯みがきの時間が合わず、一緒にみがけなかった家庭も多かった。まだまだ家庭との連携が必要だと感じた。しかし、全体的には仕上げみがきを行っている家庭が増えている。

保護者の感想

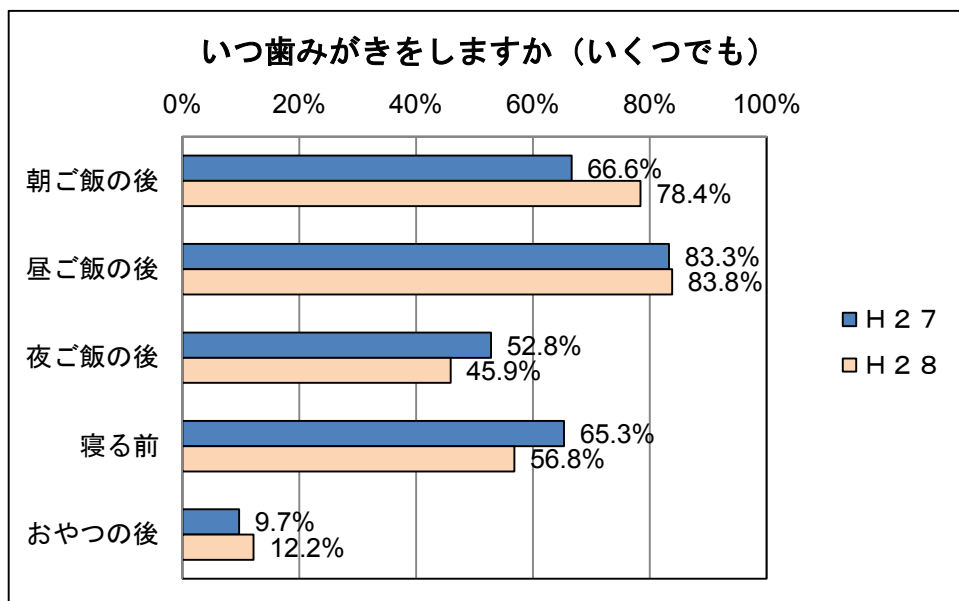
- 一緒にみがくことはできませんでしたが、タイマーで計ってみがき、学んだことを意識して今まで土・日の昼などできていなかったけど、忘れずていねいにみがこうとがんばっていました。
- 歯みがき大会に参加して、1本ずつていねいにみがこうとする姿が見られています。

歯・口の健康診断結果の推移

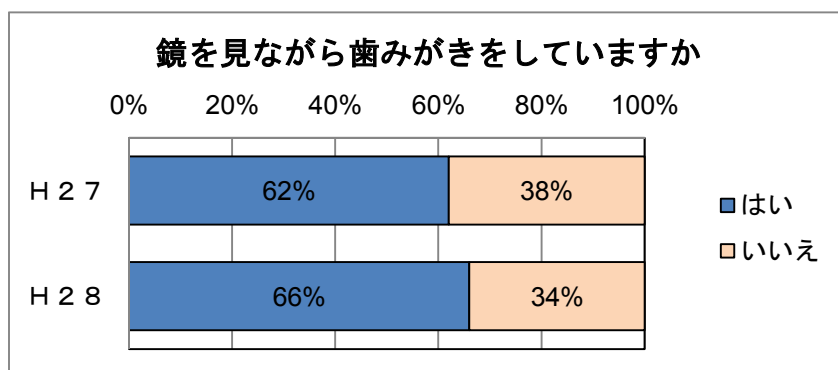


4 児童・保護者のアンケートから（抜粋）

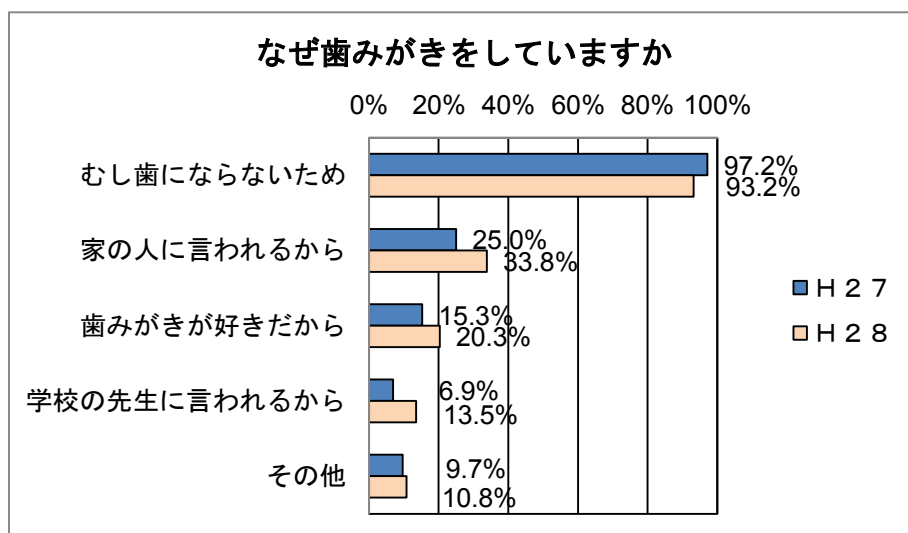
【児童】



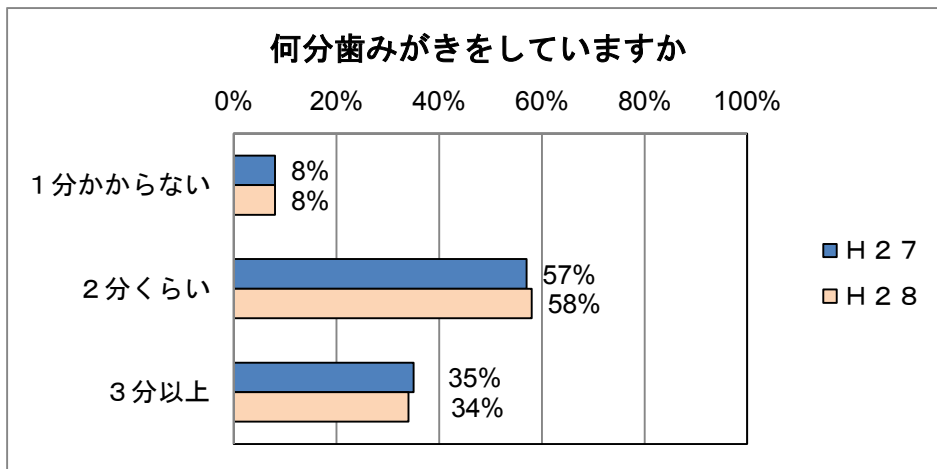
朝歯みがきをする児童が増えた。昼の歯みがきについては、休日になると忘れがちになるので、今後も継続して声かけ等していきたい。



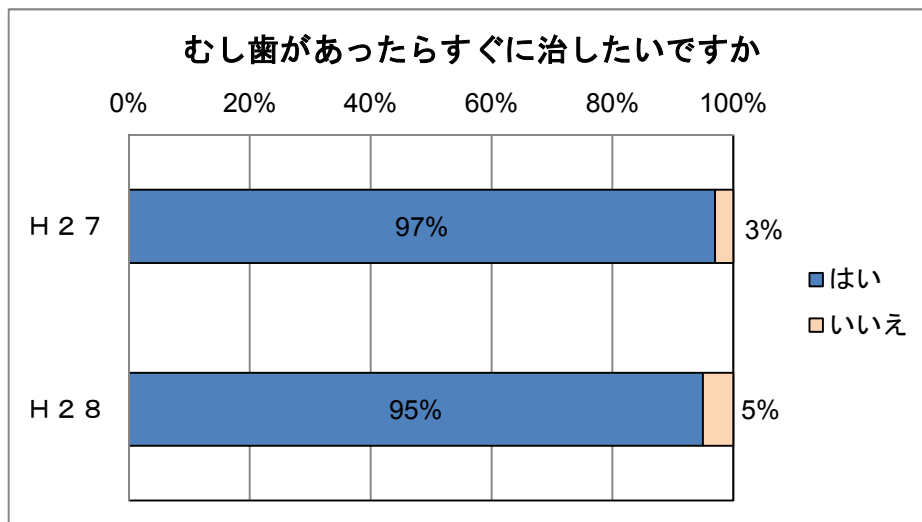
少しだが、鏡で自分の歯・口を見ながらみがける児童が増えてきている。給食後の歯みがきでは、健康委員会も声かけを行っている。



歯みがきをする理由として「家の人や先生に言われるから」が増えている一方で「歯みがきが好きだから」やその他として「歯みがきをしないと気持ち悪いから」「歯と口の学習をしたから」「すっきりするから」など前向きな意見もみられた。

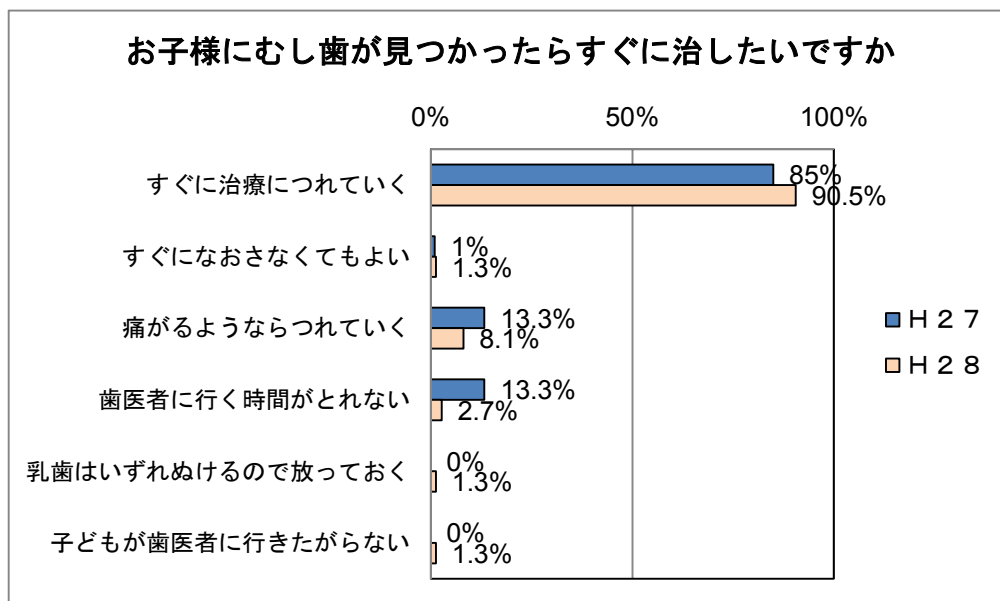


給食後の歯みがきの様子を見ると、3分間以上みがけている児童が多いが、家庭ではなかなか3分間以上みがけていないようだ。保護者の方に協力をお願いしていきたい。

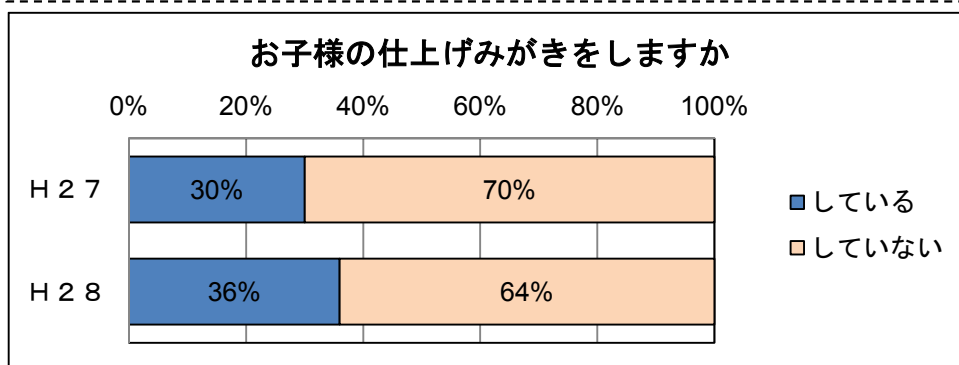


むし歯があったらすぐに治したいという児童がほとんどだが、中にはむし歯の治療に行くよう何度声をかけても行かない児童もいる。むし歯の進行や永久歯への影響について伝えていきたい。

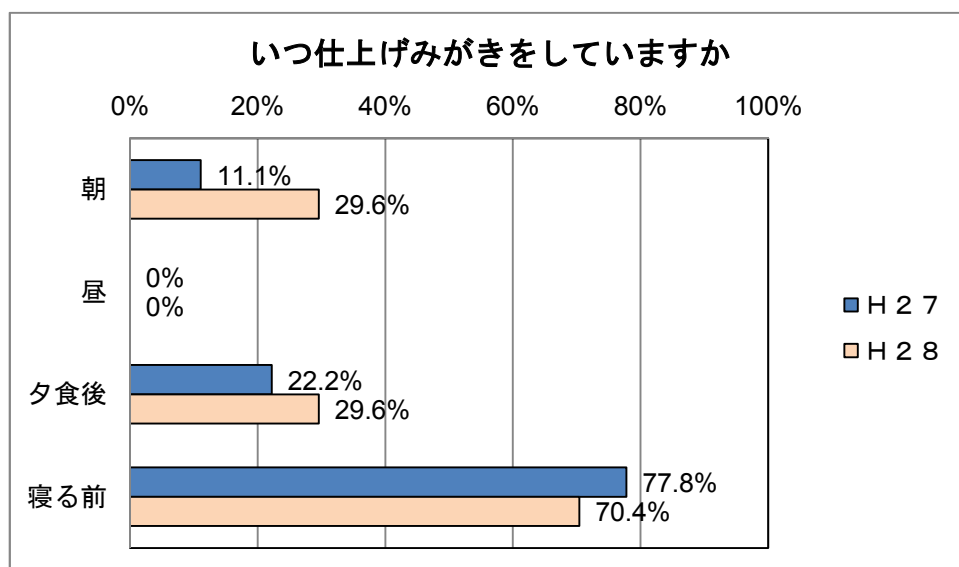
【保護者】



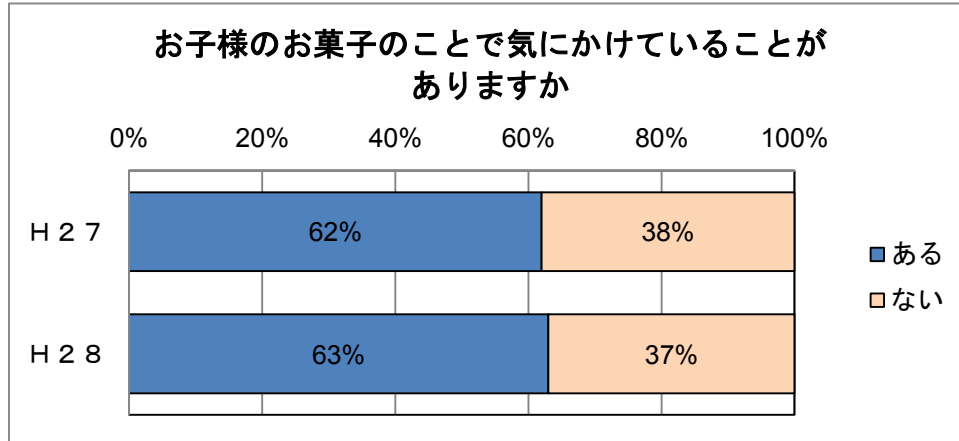
「すぐに治療につれていく」という家庭が増えた一方で、そうでない家庭もあるのが現状である。なるべく早く治療に行ってもらえるよう、引き続きさまざまな形で家庭へ呼びかけていきたい。



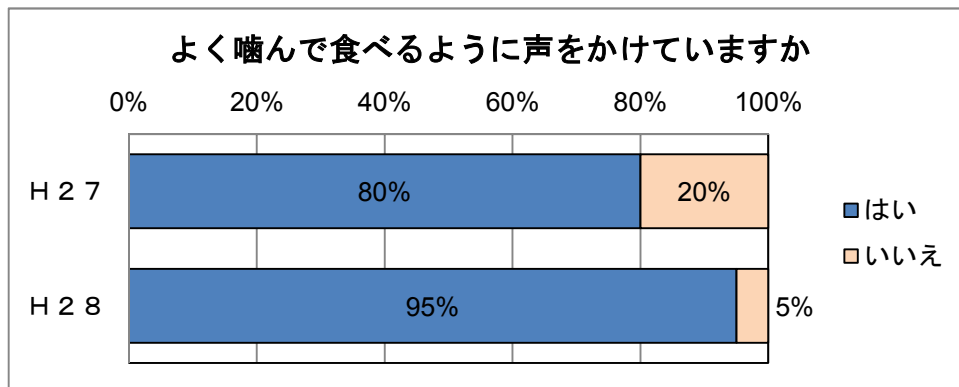
1・2年生については、保護者に向けて学級 PTA で仕上げみがきについて取り組んだこともあり、ほぼ全家庭で実施できている。しかし学年が上がるにつれ、本人にまかせていることが多くなってきているようだ。



夜だけでなく、忙しい朝に仕上げみがきをしている家庭が増えた。また、歯ブラシで取りきれない歯垢をデンタルフロスを使って歯と歯の間までみがいている保護者もいるので、他の家庭にも知らせていきたい。



お菓子のことで気をつけていることで多かったのは、「あめ・キャラメルをひかえる」「時間や量を決めて食べるようにする」「むし歯になりにくいものを選ぶ」だった。むし歯の原因となる糖とのつきあい方について今後も伝えていきたい。



よく噛んで食べることの大切さは、全学年において食育や学級活動を通して何度も伝えられている。「かたい食材を使う」「野菜や肉を大きめに切る」など工夫している家庭もあった。

V 資料

平成28年度 学校保健計画

西粟倉小学校

		4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間保健目標		自分の身体を知ろう	身のまわりを清潔にしよう	歯を大切にしよう	夏の病気に気をつけよう(熱中症、プール熱等)	けがの手当を知ろう	目を大切にしよう	姿勢を正しくしよう	寒さに負けない体を作ろう	風邪に気をつけよう	心の健康に気をつけよう	健康生活を反省しよう
学年別保健目標	1年	体の部分の名前を知る	正しい手洗いやうがいの仕方を身につける	歯ブラシの持ち方を知る 第一大臼歯をみがこう	帽子をかぶるわけを知る	自分の傷口を自分で洗うことができるようにする	テレビやゲームの影響について学習する	正しい姿勢を身につける 前歯をみがこう	外でしっかり遊べるようにする	うがいや手洗いの習慣を身につける	友だちと一緒に仲良く遊べるようにする	1年間の生活をふり返る
	2年	体の部分の名前を知る	正しい手洗いやうがいの仕方を身につける	永久歯を大切に	熱中症について知る	自分の傷口を自分で洗うことができるようにする	テレビやゲームの影響について学習する	正しい姿勢を身につける 前歯をみがこう	外でしっかり遊べるようにする	うがいや手洗いの習慣を身につける	友だちと一緒に仲良く遊べるようにする	1年間の生活をふり返る
	3年	健康診断をとって自分の健康状態を知る	体を清潔にする必要性を考える	正しい歯のみがき方	熱中症について知る	自分の傷口を自分で洗うことができるようにする	テレビやゲームの影響について学習する	姿勢と視力の関係を知る 五感が満たされる食べ方	外でしっかり遊べるようにする	うがいや手洗いの習慣を身につける	友だちの気持ちに気づき、思いやりを持った生活ができるようになる	1年間の生活をふり返る
	4年	健康診断をとって自分の健康状態を知る	体を清潔にする必要性を考える	正しい歯のみがき方	夏にかかりやすい病気を知り、予防ができるようにする	自分でできる簡単なけがの手当の仕方を知る	目の働きを理解し、テレビなど時間を決めて見る習慣を身につける	むし歯のでき方と予防	めあてを決めてマラソンなどの運動をする	うがいや手洗いの必要性を考える	友だちの気持ちに気づき、思いやりを持った生活ができるようになる	1年間の生活をふり返る
	5年	自分の健康課題を知り、より健康な生活が送れるようにする	自分の体だけでなく、まわりの環境の衛生に気をつけられる	歯周病の原因とその予防	夏にかかりやすい病気を知り、予防ができるようにする	自分でできる簡単なけがの手当の仕方を知る	目の働きを理解し、テレビなど時間を決めて見る習慣を身につける	噛むことの重要性 唾液の働き	めあてを決めてマラソンなどの運動をする	うがいや手洗いの必要性を考える	自他の気持ちを大切に、明るく暮らせる方法を考える	1年間の生活をふり返る
	6年	自分の健康課題を知り、より健康な生活が送れるようにする	自分の体だけでなく、まわりの環境の衛生に気をつけられる	かむことの重要性と全身の健康	夏にかかりやすい病気を知り、予防ができるようにする	自分でできる簡単なけがの手当の仕方を知る	目の働きを理解し、テレビなど時間を決めて見る習慣を身につける	すべての歯のみがき方	めあてを決めてマラソンなどの運動をする	うがいや手洗いの必要性を考える	自他の気持ちを大切に、明るく暮らせる方法を考える	1年間の生活をふり返る
	にこにこ	体の部分の名前を知る	正しい手洗いやうがいの仕方を身につける	自分できれいにみがけるようにする	帽子をかぶるわけを知る	自分の傷口を自分で洗うことができるようにする	テレビやゲームの影響について学習する	正しい姿勢を身につける 正しい歯のみがき方	外でしっかり遊べるようにする	うがいや手洗いの習慣を身につける	友だちと一緒に仲良く遊べるようにする	1年間の生活をふり返る
保健行事		定期健康診断 校内身体測定 尿検査 職員胃検診	定期健康診断 歯・口の健康診断 内科・結核検診 耳鼻科・眼科検診 尿検査二次 心音・心電図検査	定期健康診断 身長・体重測定 救急法講習会	健康集会 教職員健康診断	身長・体重測定	歯・口の健康診断 視力測定	身長・体重測定		身長・体重測定 視力測定		身長・体重測定
保健管理	心身の管理	保健調査 緊急連絡表の作成 健康観察表の作成 体位の統計 健康診断の実施と事後措置	健康診断の実施と事後措置 水泳前保健調査 海事研修前保健調査	定期健康診断のまとめ 歯科指導	疾病異常者への治療勧告 夏休みの健康 わたしのけんこう記入 健康相談	夏休み中の健康調査 疾病異常者の治療状態把握及び治療勧告	視力低下者への治療勧告 衣服の調節の指導 社会見学時の健康管理 修学旅行前保健調査	姿勢指導 衣服の調節の指導 手洗いうがいの指導と強化 屋外運動の励行	冬季健康観察の強化 わたしのけんこうの記入 健康相談 手洗いうがいの励行	冬季健康観察の強化 インフルエンザの早期発見と予防 冬休みの健康調査 手洗いうがいの励行	冬季健康観察の強化 手洗いうがいの励行 心の健康の啓発	学校保健統計の整理 健康生活の反省 健康診断票・歯科検診票の整理 わたしのけんこう記入
	環境の管理	緊急体制確認 医薬品の点検 水質検査 机・いすの調整	プールの衛生管理 水質検査	プールの衛生管理 水質検査	プールの衛生管理 水質検査	水質検査	照度検査 照明器具の点検整備 水質検査	換気の励行 水質検査	換気の励行 暖房器具の点検 水質検査	換気の励行 空気の検査 暖房器具の点検 水質検査	換気の励行 暖房器具の点検 水質検査	換気の励行 暖房器具の点検 保健室備品の点検整備 水質検査
児童委員会	年間計画	野外弁当給食	歯ブラシ点検 歯のみがき方	健康集会				野外弁当給食	ふるさと元気給食	換気放送	給食週間 風邪の予防について	

保護者の方へ

平成28年7月5日
西栗倉小学校

歯と口の健康についてのアンケート記入のお願い

盛夏の候、保護者のみなさまにおかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。

本校では、日本学校歯科医師会の平成27年度・28年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」を受けて、児童や保護者の方々のむし歯に対する意識や歯みがきの現状、食事のとり方などを把握するためにアンケートを作成しました。

ご多忙かと思いますが、児童のむし歯予防や歯と口の健康の推進に役立てたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

7月13日(水)締め切りとなっていますので、学校まで提出くださるようよろしくお願いいたします。



歯と口の健康についてのアンケート（保護者用）

※兄弟がいる場合、ご面倒ですが1人に1枚ずつお答えください。

お子様（ ）年生

◇ 次の質問のあてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

【歯・口について】

①お子様にむし歯が見つかったらすぐに治したいですか。

すぐに治療に連れていく（ ）

すぐに治さなくてもよいと思っている（ ）

痛がるようなら連れていく（ ）

歯医者に行く時間が取れない（ ）

乳歯はいずれ抜けるので放っておく（ ）

子どもが歯医者を怖がって行きたがらない（ ）

②お子様の仕上げみがきをしていますか。

している（ ） していない（ ）



朝（ ）・ 昼（ ）・ 夕食後（ ）・ 寝る前（ ）

③お子様の口の中が気になりますか。

むし歯があるか気になる（ ） 歯肉炎になっているか気になる（ ）

歯並びなどが気になる（ ） 気にならない（ ）

【食生活について】

①お子さまの食事で気をつけていることはありますか。

ある（ ）（具体的に ）

ない（ ）

②お子さまのお菓子のことで気をつけていることはありますか。

ある（ ）（具体的に ）

ない（ ）

③よくかんで食べるよう声をかけていますか。

はい（ ） いいえ（ ）

④食事の時、家族でよく話をしますか。

はい（ ） いいえ（ ）

は くち けんこう じどうよう
 歯と口の健康についてアンケート (児童用)



() 年 名前 ()

つぎ しつもん
 ◇次の質問のあてはまるものに○をつけましょう。

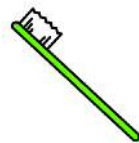
【歯・口について】

①1日のうち、いつ歯みがきをしていますか。(いくつでも○)

朝起きた時 () 朝ごはんの後 ()

昼ごはんの後 () 夜ごはんの後 ()

寝る前 () おやつの後 ()



②何分歯みがきをしていましたか。

1分かからない () 2分くらい () 3分以上 ()

③鏡を見ながら歯みがきしていますか。(はい ・ いいえ)

④なぜ歯みがきをしていますか。(いくつでも○)

むし歯にならないため () 家の人に言われるから ()

歯みがきが好きだから () 学校の先生に言われるから ()

その他 ()

⑤むし歯があったらすぐに治したいですか。

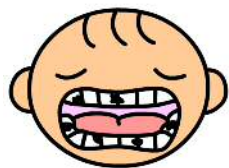
すぐに治したい ()

すぐに治さなくてもよい ()

→ 理由は? むし歯が痛くないから ()

めんどうだから ()

歯医者がこわいから ()



【食生活について】

①好き嫌いがありますか。

ない () ある ()

②ひと何回くらいかんで食べていますか。

5回くらい () 10回くらい ()

20回くらい ()



③朝ごはんは食べますか。

はい () いいえ ()

④どんなおやつを食べますか。(いくつでも○)

クッキー () ・ スナック菓子 () ・ チョコレート ()

ガム () ・ グミ () ・ くだもの () ・ せんべい ()

ヨーグルト () ・ ゼリー () ・ するめ ()

ジュース (スポーツドリンク) () ・ 炭酸飲料 ()

牛乳 () ・ その他 ()

⑤おやつを1日何回食べていますか。

食べない () 1回 () 2回 () 3回以上 ()

⑥いつおやつを食べますか。

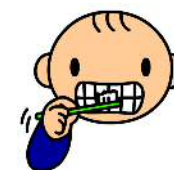
朝 () ・ 家に帰ってから () ・ 夕食後 () ・

寝る前 ()



⑦歯みがきをした後に何か食べてしまうことがありますか。

ある () ・ ない ()



平成27・28年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」地域推進委員会会則

第1条（名称）

本会は、「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり地域推進委員会」と称する。

第2条（目的）

社団法人日本学校歯科医会の委嘱を受け、生涯にわたる健康づくりの源である生活習慣の形成につながる歯・口の健康づくりについて研究・協議し、地域及び本県における学校歯科保健のさらなる充実と子どもの生きる力の育成に寄与する。

第3条（事業内容）

本会は、前条の目的を達成するために、推進学校における児童の歯・口の健康に関する調査研究に関して研究・協議し、提言を行う。

第4条（組織）

本会の委員は、次により構成する。

- （1）推進学校職員
- （2）推進学校PTA関係者
- （3）推進学校歯科医
- （4）岡山県教育庁保健体育課関係者
- （5）西粟倉村教育委員会学校教育課関係者
- （6）岡山県歯科医師会関係者
- （7）岡山県歯科医師会勝英支部関係者
- （8）岡山県学校保健会美勝英支部関係者
- （9）西粟倉村保健課地域保健班
- （10）その他、委員長が必要と認める者

第5条（委員の任期）

- 1 委員の任期は、2年とする。
- 2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第6条（役職）

- 1 本会には、委員長、副委員長を1名置き、委員長は推進学校校長をもってこれに充て、副委員長は、委員長が選任するものとする。
- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

第7条（会議）

- 1 会議は、委員長が招集する。
- 2 会議は、定例推進委員会と、臨時推進委員会とする。定例推進委員会の開催は、年1回とし、臨時推進委員会は緊急必要を生じたときに開催する。

第8条（庶務）

推進委員会の庶務は、推進学校において処理する。

付 則 本会則は、平成27年4月1日より施行する。

地域推進委員会構成員氏名等（平成27年度）

【医師会・学校保健会関係者】

氏名	所属	役職	備考
黒木 祐二	岡山県歯科医師会	理事	
柴田 宏	岡山県歯科医師会	公衆衛生部委員長	
駿河 充城	岡山県歯科医師会勝英支部	支部長	
福井 祥二	岡山県学校保健会美作市・英田郡支部	支部長	
千原 直人	千原歯科医院	学校歯科医	

【地域及び行政関係者】

中野 治	西栗倉村保健福祉課	保健師	
國里 哲也	西栗倉小学校PTA	PTA会長	副委員長
熊本ゆかり	同上	PTA副会長	
井上 裕子	同上	PTA母親委員	

【教育委員会関係者】

福本 和宏	岡山県教育庁保健体育課	課長	
小川 泰永	同上	副課長	
末廣真由美	同上	健康教育班指導主事（副参事）	
萩原 直也	西栗倉村教育委員会	教育長	
藤川 達也	同上	主事	
芦谷 武司	西栗倉村教育ネット	中学校長	
中島 美穂	同上	養護助教諭	
小林 久美	同上	幼稚園長	
春名加奈絵	同上	教諭	

【推進学校職員】

岸本一二三	西栗倉村立西栗倉小学校	校長	委員長 庶務担当
衣畑 富生	同上	教頭	
岡田 紀子	同上	教諭	
内藤 祐子	同上	教諭	
和田 遼	同上	教諭	
伊藤有李紗	同上	教諭	
朽山美恵子	同上	教諭	
福田 雅人	同上	教諭	
小林 幸子	同上	教諭	
鳥越 巖之	同上	講師	
佐栞 信也	同上	講師	
春名 志保	同上	講師	
森 一	同上	講師	
春名 容子	同上	教育支援員	
寺坂 友希	同上	養護教諭	
住岡 章子	同上	栄養教諭	
梶岡 祥太	同上	事務	
白籬 益枝	同上	給食調理員	
祖堅 瞳	同上	給食調理員	
片山 史也	同上	給食調理員	

地域推進委員会構成員氏名等（平成28年度）

【医師会・学校保健会関係者】

氏名	所属	役職	備考
黒住 正三	岡山県歯科医師会	副会長	
黒木 祐二	岡山県歯科医師会	理事	
柴田 宏	岡山県歯科医師会	公衆衛生部委員長	
駿河 充城	岡山県歯科医師会勝英支部	支部長	
福井 祥二	岡山県学校保健会美作市・英田郡支部	支部長	
千原 直人	千原歯科医院	学校歯科医	

【地域及び行政関係者】

中野 治	西栗倉村保健福祉課	保健師	
福島 得博	村立西栗倉小学校PTA	PTA会長	副委員長
上山 奈穂	同上	PTA副会長	
建元のぞみ	同上	PTA母親委員	
今西 真紀	同上	同上	

【教育委員会関係者】

福本 和宏	岡山県教育庁保健体育課	課長	
小川 泰永	同上	副課長	
阿部さやか	同上	健康・安全教育班指導主事(主任)	
関 正治	西栗倉村教育委員会	教育長	
白岩 将伍	同上	主事	
芦谷 武司	西栗倉村教育ネット	中学校長	
植月 紀衣	同上	養護教諭	
岸本一二三	同上	幼稚園長	
春名加奈絵	同上	教諭	

【推進学校職員】

岸本一二三	西栗倉村立西栗倉小学校	校長	委員長 庶務担当
衣畑 富生	同上	教頭	
内藤 祐子	同上	教諭	
福田 雅人	同上	教諭	
朽山美恵子	同上	教諭	
水嶋 吏恵	同上	教諭	
和田 遼	同上	教諭	
小林 幸子	同上	教諭	
水島 一登	同上	講師	
佐栞 信也	同上	講師	
春名 志保	同上	講師	
春名 容子	同上	講師	
寺坂 友希	同上	養護教諭	
藤原 弥生	同上	栄養教諭	
塚本 佳世	同上	事務	
高本ゆかり	同上	授業改革推進委員	
白籬 益枝	同上	給食調理員	
祖堅 瞳	同上	給食調理員	
片山 史也	同上	給食調理員	

お わ り に

本校では、平成27・28年度と「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」に取り組むことになり、児童や保護者の歯と口の健康に対する実態を把握し、そこから見えてくる課題を明らかにすることから始めました。

明らかになった課題に対して、一つ一つ検証したら解決できるのか、全職員が一丸となって取り組んでいきました。

児童自ら課題意識を持って取り組むために体験的な活動を取り入れたり、教材づくりや専門家の活用等を通して興味関心を持って学んだりできるような授業づくりを進めました。また、保護者との連携を深めるために、授業参観、講演会、学級PTA活動等を通して啓発活動を進めていきました。これらを地道に繰り返し取り組むことで、徐々にではありますが、児童や保護者の意識が変わってきました。

今回の研究は、本校児童、職員、保護者が健康への意識を持つ第一歩となりました。その過程での児童の変容は大きな励みとなり、これからも、自分たちの体に関心を持ち、進んで健康な生活を送ることができるよう見守りたいと意を固くした次第です。

最後になりましたが、学校内外の多くの皆様方のご支援・ご指導をいただきありがとうございました。おかげさまで、拙いながらも研究を進めることができました。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

研 究 同 人

平成28年度

岸本一二三	衣畑 富生	朽山美恵子	小林 幸子
内藤 祐子	福田 雅人	水嶋 吏恵	藤原 弥生
寺坂 友希	和田 遼	水島 一登	春名 志保
佐乗 信也	春名 容子	塚本 佳世	高本ゆかり
白簀 益枝	祖堅 瞳	片山 史也	

平成27年度

岡田 紀子	住岡 章子	伊藤有李紗	梶岡 祥太
鳥越 厳之	森 一	河野 奨矢	